

常任委員会でのおもな論議

2月28日から連日(下記「市会の動き」参照)にわたり、常任委員会において、各委員が予算案等についてさまざまな論議を交わしました。その内容を常任委員長の見解をもとに紹介します。

財政総務委員会

問 区役所改革の取り組みや区政会議の内容等については

答 平成23年度を、地域から市政を変えるための区政元年と位置づけ、市民協働の取り組みを強力に推し進めるために区政会議の設置や地域活動協議会の形成に向けて新たな取り組みを進めていきます。

その際には、従来のように役所主導で一方的に進めるのではなく、地域と対話をしながら地域の実情をくみ取り進めるとともに、新たに設置する協働まちづくり室を市長直轄組織と位置づけ、協働施策を総括し、局・区横断的な課題の解決に取り組みます。

区政会議においては、区域内で行われている事業について知っていただくとともに区民の目線で評価し、改善点などの意見をいただき、次年度の予算に反映していきます。

他の質疑項目

〔財政問題、新たな市政改革の取り組み、大阪市経済成長戦略(案)、若者の雇用対策 など〕

文教経済委員会

問 児童虐待防止策については

答 昨年の西区における児童虐待事件を受けて、虐待にかかる緊急性のある通告に対し、消防局への出動要請や、警察との連携強化を図り、より確実に安全確認できるようになりました。

今後の課題は、夜間・休日の通報に、より迅速に対応していくことであり、警察官OBを嘱託職員として雇用し、児童虐待の早期発見・早期対応に一層努めます。

さらに、地域の見守り力の強化のた

め、平成23年度から各区の要保護児童対策地域協議会が個別ケース会議などを開催する際に、児童虐待について専門的知識を持った学識経験者等のスタッフを派遣する事業を実施し、その機能強化を図るなど、行政、関係機関、地域が一体となって効果的な取り組みを進めます。

他の質疑項目

〔小中一貫教育、市立学校園における暑さ対策、中小企業支援の取り組み、観光施策 など〕

民生保健委員会

問 森之宮工場を含む森之宮地区のまちづくりについては

答 森之宮地区では、森之宮工場の廃熱利用や中浜下水処理場で発生するバイオガスなど、クリーンエネルギーを生産・供給し、エリア全体でエネルギー効率の高い、全国の範となる環境に配慮したまちづくりをめざします。

森之宮工場の建替計画については、検討委員会において、将来確保すべき処理能力は日量800トンとしており、「森之宮工場、大正工場をそれぞれ400トンでの建て替えが優位である」と提言されました。

処理コストの面では、処理能力が大きいほどスケールメリットがあり効率的だが地域の環境負荷が増大するため、地域間の公平性を考え、市内に分散して配置させることが重要な視点であり、新しい森之宮工場は市民に開かれた、地域住民などに積極的に利用してもらえる施設としていきます。

他の質疑項目

〔生活保護、国民健康保険事業、廃棄物処理事業の経営形態、住吉市民病院の建替整備 など〕

計画消防委員会

問 うめきた地区や大阪駅周辺地区のまちづくりについては

答 うめきた地区のまちづくりについて、先行開発区域では、(仮称)大阪オープン・イノベーション・ヴィレッジをナレッジキャピタルの中核施設として開設をめざします。

2期開発では、将来の大阪の経済を支える区域として整備するため、鉄道地下化・道路など都市基盤施設について、都市計画の手続きを進め、事業の推進に積極的に取り組みます。

将来の大阪・関西の発展に向け、官民一丸となって、うめきた地区の開発に取り組み、必ず成功させていきます。

また、大阪駅周辺地区のまちづくりについては、鉄道事業者と連携した新たな魅力づくりに向けた取り組みなど、地区全体の競争力、集客力、地域力を高めていきたいと考えています。

他の質疑項目

〔阿倍野再開発事業、市営住宅、救急安心センター事業、外郭団体 など〕

建設港湾委員会

問 放置自転車対策など、道路利用の適正化については

答 区の特성에応じた放置自転車対策を行うため、市民協働型自転車利用適正化事業「トライアルプラン」を24区全てで、名称も新たに「Do!プラン」として本格実施するとともに、コスト削減や用地の有効利用を図るため、撤去自転車の保管期間の短縮や、全ての保管所での撤去自転車直接売却の検討を進めます。

また、御堂筋における「歩行者と自転車が共存できる空間づくり」社会実験の結果をもとに、御堂筋と周辺地区で

の自転車の走行のあり方を検討します。

道路のバリアフリー化については、視覚障害者誘導用ブロックなどの整備に加えて、電線類の地中化なども効率的に推進し、バリアフリー社会の実現に向けて努めます。

他の質疑項目

〔国際コンテナ戦略港湾、臨海部の活性化、平野下水処理場の汚泥固形燃料化事業 など〕

交通水道委員会

問 鉄道交通ネットワークについては

答 阪急京都線と相互直通運転を行っている地下鉄堺筋線のダイヤの改正により、大阪・京都間の交通アクセスの利便性が向上し、さらに、京都と関西の空の玄関口である関西空港とのアクセスも改善されます。

地下鉄第8号線については、開業区間の利用状況を把握するため、利用者に対するアンケート調査や沿線の土地利用・建物状況などデータの収集・調査及び分析を行い、整備効果などの確認を行うこととしており、これが今里・湯里六丁目間の整備計画の検討に資するものと考えています。

他の質疑項目

〔民営化を含めた交通局の経営形態と経営改善の取り組み、地下鉄駅における可動式ホーム柵やエレベーターなどのバリアフリー対策、災害時の危機管理と水道施設の耐震化 など〕

大阪市会は、2月22日に発生したニュージーランド地震及び3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震により、甚大な被害が発生している状況に鑑み、被災者を支援し復興に寄与するため、義援金の贈呈を行いました。

市会の動き

2/ 8(火)	招集告示[2月・3月定例会]
10(木)・14(月)・15(火)	常任委員会(案件の事前調査、請願書・陳情書の審査など)
17(木)	〈開会〉本会議(予算案等の市長説明など)
21(月)・22(火)	本会議(代表質問2日間)
23(水)	常任委員会(説明など)
24(木)	文教経済委員会(実地調査)
28(月)~3/3(木)	常任委員会(質疑)
3/10(木)・11(金)・14(月)	常任委員会(案件の事前調査、請願書・陳情書の審査など)
16(水)	常任委員会(付託案件に対する態度決定) 本会議(予算案等の可決など)〈閉会〉

《議員報酬の減額について》

大阪市会では、大阪市の厳しい財政状況を踏まえ、平成23年4月1日から平成25年3月31日までの2年間、議員報酬を20%減額することを決定しました。これにより年間総額約2億7千万円を削減します。

	議長	副議長	常任委員長	常任副委員長	議員
改正前(21.4.1現在)	126万円	112万円	106万円	104万円	102万円
改正後(23.1.1~)	120万円	106万円	101万円	99万円	97万円
20%減額後	96万円	84万8千円	80万8千円	79万2千円	77万6千円

5%減
さらに
20%減

可決した意見書・決議

- 子宮頸がん予防、ヒブ、小児用肺炎球菌の3ワクチンの定期接種化を求める意見書(以下、2月17日)
- 若者の雇用対策の更なる充実を求める意見書
- 公共交通機関のバリアフリー化の更なる推進を求める意見書
- 私学助成のあり方に関する意見書
- 大阪市域における特別支援学校の整備に関する意見書(以下、3月16日)
- 一般用医薬品のインターネット等販売規制に関する意見書
- 環太平洋パートナーシップ協定(TPP)に関する意見書
- 東北地方太平洋沖地震に関する意見書
- 東北地方太平洋沖地震に関する決議
- 尖閣諸島の実地踏査に関する決議

大阪市会だより

編集と発行/
大阪府会事務局政策調査担当
〒530-8201
大阪市北区中之島1-3-20
☎6208-8694 FAX6202-0508
大阪市会ホームページアドレス
<http://www.city.osaka.lg.jp/shikai/>